



学校だより 6月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



もちTaNaくん

150周年記念運動会を通して ～子どもたちの成長～

副校長 井上 和浩

各御家庭では、当日はもちろんこの日に至るまで多くの準備や励ましの声掛けなど、ご支援・ご協力をいただきありがとうございました。また、大勢の来賓、地域の方、家族の皆様などにご参観いただき感謝いたします。本番ではお子さんや田奈小児童の活躍や奮闘ぶりをご覧いただけたのではないかと考えています。

わたしも運動会でちょっとしたうれしいことがありました。

30名ほどの職員への朝食のおにぎりをコンビニから運ぶ途中でした。段ボール箱を抱えて歩いている私に、

「先生、運動会ですね。車ですから学校まで運びますよ。」

と声をかけてくれたご夫婦がいました。学校までは歩いて数分ですし、一人で運べる量だったので、

「大丈夫です。ありがとうございます。」と答え、別れました。あたたかさや学校への気遣いを感じ、心が明るくなりました。

また、次のようなこともありました。お孫さんが田奈小に通っている方が、

「孫は高学年だけど、運動会の係をやらしくて、その姿を見るのが楽しみなんだよね。」と言っているのを耳にしました。

この話を聞いて、わたしも我が子が徒競走の線を引くライン係で、友達と何やら相談をしながら役割を分担してラインを引く姿に胸がジーンとしたことを思い出しました。運動会ではよく見かける光景ですが、小学校6年間での成長の一コマを目にしてうれしくなったのだと思います。ついつい徒競走や演技に目が向きがちですが、このような見方を共有できて、その方と意気投合しました。

24日(水)の1校時の運動会全体練習での一コマ。練習の中での校長の話です。

「担当の人がわかりやすく説明することができていました。説明を聞いていたみんなも説明する人をきちんと見て聞くことができていました。応援練習の声もよくでていました。長い時間でしたが、がんばって練習できました。」

運動会の演技、競技の練習や全体練習などを重ねることで、

「話す時は相手を意識して分かりやすく話すことができるようになった。」

「話を聞かるときは、話をしている人をしっかり見て聞くことができるようになった。」

「仲間や相手に対し、精一杯応援することができるようになった。」

「長い時間でもやり通せるようになった。」と言えるのではないのでしょうか。

もちろん運動会だけではなく、児童が日々考え、よりよい行動を積み重ねることで身に付けたのだと思います。担任が日頃から繰り返し、丁寧に指導していることもつながっているはずですよ。

運動会という行事を通し、様々な人とかわることで心が豊かになり、成長につながっています。本番での子どもたちの姿はどのように皆さんに映ったでしょうか。お声を聞かせていただけると幸いです。

